

# 高砂市民プール廃止後の水泳機能の代替に向けた方針

## 1. 背景

現高砂市民プールは、昭和 60 年に建設され、長年にわたり多くの市民に親しまれてきましたが、築 40 年が経過し、施設の老朽化や維持管理コストの増大などが顕著となり、安全性及び財政負担の観点から現行の運営体制では持続が困難であることから令和7年度をもって廃止することとしています。当初の計画では、令和5年度をもって廃止する方針としていましたが、市民からも水泳機能の代替を求める声も多く、また、市民の健康づくりや地域のスポーツ活動の場として活用されてきたことも踏まえ、市民プールの廃止を2年間延長し、その間に新たな水泳機能の代替の検討を進めてきました。

こうした状況を踏まえ、市の財政への過度な負担を避け、市民が引き続き水泳に親しめる環境を確保するため、下記の基本的な考えと整備方針に基づき、市民プールの代替となる屋内プールの整備を進めます。

## 2. 基本的な考え方

市民にとって身近で利用しやすい水泳環境を将来にわたり持続可能な形で提供するために、民間事業者の創意工夫と経営力を活かした「民設民営方式」による屋内プールの整備を進めます。

## 3. 整備方針

### (1) 誰もが利用できる施設

こどもから高齢者まで、市民の誰もが、年間を通して水泳が楽しめ、気軽に利用できるよう、適切な料金設定やバリアフリー・ユニバーサルデザインにも配慮した施設とします。

### (2) 民間事業者の活用

民間事業者が屋内プールを整備・運営することで、市の財政負担の縮減と水泳機能の代替となる市民サービスを維持します。

### (3) 市有地の活用

スポーツ・レクリエーション機能の集約拠点で利便性が高い市有地を定期借地等により提供することで、長期にわたり安定的な施設運営を図ります。

### (4) 学校授業との連携

学校水泳授業の場として、専門指導員による水泳指導を行うことで水泳授業の質の向上、学校プールの維持管理に対する教職員の負担軽減や設備投資の削減を図ります。

#### **(5)安心・安全への取組**

緊急時対応や監視・救護体制等の整備など利用者が安心して安全に利用できる環境づくりに取り組めます。

#### **4. 事業方式**

民間の資金とノウハウを最大限活用する独立採算による民設民営方式(企業誘致型)とし、建設・運営に係る市の財政負担の縮減を図りながら、持続可能な市民サービスの提供を目指します。

#### **5. 施設機能**

25m屋内型プール、更衣室、シャワー、バリアフリー対応トイレ等

#### **6. スケジュール(案)**

令和7年度 サウンディング調査、方針決定、設置条例廃止

令和8年度 都市計画変更

令和9年度 公募・事業者選定

令和9年度～令和11年度 工事

令和11年度 新プールオープン(予定)